

報告事項工

少人数学級拡充の検討状況について

少人数学級拡充の検討状況について、別紙のとおり報告します。

平成23年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

少人数学級拡充の検討状況について

平成23年12月22日
小 中 学 校 課

1 市町村に示した基本的な考え方

小学校1・2年、中学校1年の1/2協力金を廃止し、単県費で少人数学級を実施する。
市町村が1/2協力金に充てていた財源を活用して、県は市町村と協力して他学年へ少人数学級等を拡充する。
協力金については、これまでの考え方を継続して、1/2協力金は200万円、全額協力金は約500万円とする。

2 拡充方法

(1) 対象学年、学級規模

平成24年度より小学校3～6年、中学校2・3年 35人以下学級

小学校1・2年 30人以下学級、中学校1年 33人以下学級は継続

(2) イメージ図

《現行》

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	40	40	40	40	33	40	40

単県費



《平成24年度以降》

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	35	35	35	35	33	35	35

200万円
協力金

500万円
協力金

市町村がさらに少人数学級を拡充する場合

[例：小3・4、中2で500万円協力金を活用して少人数学級を拡充]

小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
30	30	30	30	35	35	33	33	35

3 これまでの協議等の経過

(1) 市町村教育委員会との意見交換

・地区別開催 第1回 5/16 (東・中部) 5/18 (西部)

第2回 7/6 (東・西部) 7/7 (中部)

・ヒアリング 8/31～9/9 (若桜町を除く18市町村)

(2) 今後の少人数学級検討委員会(学校、保護者、市町村教育委員会代表が参加)

・第1回 7/4 第2回 8/4

(3) 県・市町村行政懇談会 11/16

(4) 知事記者会見 11/17

(5) 県議会 総務教育常任委員会に報告 11/29

参考資料



少人数学級を拡充した場合のシミュレーション

	単県費										財政負担			
	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	所要 人件費(県)	協力金 の総額	A町の 協力金	A町の 増教員数	
現 行	30	30	40	40	40	40	33	40	40	7.9億	2億	1.2千万	6	
24年度	30	30	35	35	35	35	33	35	35	16.7億	2.1億	1.4千万	7	

A町が全額協力金でさらに小3・4、中2に拡充した場合

24年度	30	30	30	30	35	35	33	35	35	+ 2.3千万		+ 1.5千万	+ 3
------	----	----	----	----	----	----	----	----	----	---------	--	---------	-----

@5,000千円 × 3

- 1 増教員数は、平成24年度の児童・生徒数推計(H23.9月現在)をもとにして算出。
- 2 財政負担について、人件費@7,786千円(トータルコスト)、1/2協力金@2,000千円、全額協力金@5,000千円で算出